

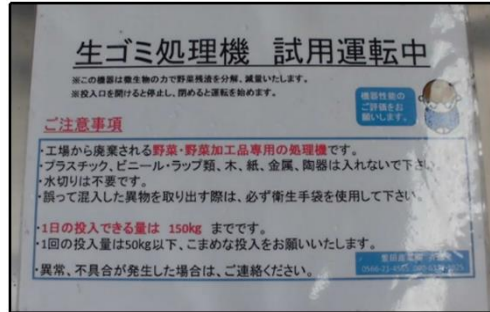
こんにちは！
めぐりん菜通信をお読みいただきありがとうございます。

今月号は、「**株**ほった **デモ**による**性能評価スタート**」の記事をお届けします。

年が明けて、年末までの**暖冬**はどこえやら！**厳しい寒さ**が続きますが、ご自愛を！
(担当：齊藤)

株ほった デモによる性能評価スタート

去る1/8、株ほった様の海津工場に**生ゴミ処理機フォースターズ**を**デモ**設置し、いよいよ**性能評価**が始まりました。



確認する項目は

1 本当に野菜くずが**10%**になるのか！

→野菜は繊維が多く、微生物分解に時間がかかる。

2 工場ラインから出た姿で投入するよ！

→野菜くずを小さくするカットなど**手間はかけられない**。

3 投入できない食品廃棄物は無いよね！

→**選別が必要ではダメ**。残り物はどうするの？

4 保守管理に人は就けないよ！

→忙しくて人は割けない。**野菜くずを投入するノミ**！

5 塩の殺菌力で微生物の分解大丈夫？

→塩蔵品の割合が高いよ。**微生物生きられるの？**

特に**塩蔵品**(福神漬、ザーサイ、柴漬、きゅうり古漬)は、廃棄状況により、その割合、塩分濃度がバラバラで**現物で確認**してみるしかありません。



従業員の皆様にも手伝っていただき、**性能評価**のスタートです。あわせて、稼働後の**豊田産業**の作業についても確認いたします。



なお、**デモ**の最終目標は、提出した**産廃処理コスト削減効果**(▲39%)の実証と**生ゴミ処理機**使用による**衛生環境の改善**を確認することです。



機器の設置を契機に、工場ラインから**コマメ**に野菜廃棄物を捨てる**タイミング**等調整して頂くとともに、今までの**脱水工程の不要**、機器への**都度投入**により、廃棄物置場の**衛生環境改善**に結びつけます。

